

ベーシック16 取組事例詳細

企業名/団体名	有限会社かさい農産
業種	食料品製造業
公開日	2012/02/20
1 お客様を基点とする企業姿勢の明確化	安全な農産物を生産することを通して、持続可能な共生社会を実現する。 有機農業の実践によって、生物多様性に努め、安全な食料を提供することで、健康に寄与し、障害者雇用、研修生受け入れにより、地域の環境も含めた共生社会の実現に寄与する。 お客様は、農産物を食べていただく方々とどまらず、環境を含めた社会全体ととらえる。
参考URL	
2 コンプライアンスの徹底	当農場は、JGAP、GLOBALGAP認証農場である。 又、JGAP協会の放射能測定プログラム合格農場である。 お客様に安全なものを持続的に届けるために、農場のリスク検討を行い農場マニュアルを作成している。 法令、基準においても、マニュアル改訂を行い、会議で徹底している。
参考URL	
社内に関するコミュニケーション	
3 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備	JGAP、GLOBALGAPにより持続的に安全な食品を届けるための体制整備を行っている。 部門責任者を決め、おのおの責任の下運営している。
参考URL	
4 調達における取組	価格だけでなく、我が社の方針の元資材、機材の調達を行っている。 有機認証で使用可能な資材を中心に調達
参考URL	
5 製造における取組	リスク検討を行い、それに基づいての農場管理マニュアル、作業マニュアルの策定、検証
参考URL	
6 販売における取組	末端消費者に、安全なものを届けるため、生産、輸送、加工、販売先との連携を重視している。 お客様のニーズ、クレーム等により生産、流通体制を見直している。
参考URL	
取引先に関するコミュニケーション	
7 持続性のある関係のための体制整備	契約栽培を基本としている為、お客様のニーズに合わせた栽培計画を策定している。 残留農薬違反等クレームに関して、対応マニュアルを策定し、迅速に対応できる体制をしいている。
参考URL	
8 取引先との公正な取引	売買契約書を交わし、公正な取引をしている。
参考URL	
9 取引先との情報共有、協働の取組	社内でのトレーサビリティが有り、ウェブで確認が取れる仕組みがある。
参考URL	
お客様に関するコミュニケーション	
10 お客様とのコミュニケーションのための体制整備	ホームページ、ブログ、facebookでの情報発信
参考URL	
11 お客様からの情報の収集、対応及び管理	

	参考URL	
12 お客様への情報提供		ホームページ、ブログ、facebookでの情報発信ホームページ、ブログ、facebookでの情報発信
	参考URL	
13 食育の推進		消費者の皆さんとの交流、店頭販売、講演での食育啓蒙
	参考URL	

緊急時に関するコミュニケーション		
14 緊急時を想定した自社体制の整備		緊急時の連絡、対応マニュアルの整備 クレーム処理マニュアルの整備
	参考URL	
15 緊急時の自社と取引先との協力体制の整備		クレーム等、取引先マニュアルの整備 年一回以上の予行練習
	参考URL	
16 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備		
	参考URL	